

夜が明けるのが少し早くなり、今週は寒さもほんの少し和らいだ1週間だったように思います。3年1組の子どもたちは、1/29(土)に行った研究発表会の関係で少し変わった時間割に戸惑いを見せることもなく、変わらず元氣いっぱい、授業に前向きに取り組むことのできた1週間でした。本日で1月も最終日。彼ら彼女らと過ごす時間も残り7週間と思うと寂しくもなりますが、だからこそ18人の子どもたち、そしてサポートいただいている18家庭の保護者の皆様といい形で3年生を締めくくりつつ、4年生に向けて頑張っていきたいと思います。7週間前から「もう残りわずか!」という文章を書いてしまうほど、毎日楽しく子どもたちと生活しています。

愛唱歌プロジェクト ~イメージ調査~

作曲家の中野健一さんから、「まずは曲のイメージ作り」という課題を出してもらいスタートしたイメージ調査ですが、3年1組自分たちが思うイメージはもちろん、3年生の保護者の皆様だけでなく、1/2年生の保護者様、SOLANの先生やスタッフ、そして1/2年生の子どもたち、合計116人のSOLANをイメージする言葉を集め、今週はその情報整理を行いました。1/28(金)には、①1/2年子ども、②1/2/3年保護者、③先生日本語、④先生英語、⑤SOLANスタッフの5つのグループに分かれ、情報の授業に言葉を共同編集できるJamboardというアプリに入力し、言葉を選んだ理由を読んだり、難しい言葉は辞書で調べたりしながら、言葉に込められた思いを読み解いていきました。

1/29(土)の研究発表会では、その情報を各グループが思考ツールのXチャートを使って分類し、多かった視点の言葉から各グループの思いの特徴を発見しました。子どもは「授業」「気持ち」など【今、みんな】を表す言葉が多い。その一方で保護者や先生、スタッフの大人の人たちは、「可能性」「個性・個人」「時」など、【これから、一人ひとり】を表す言葉が多いことに気づくことができました。今回のように情報を整理する時に「視点」を考えることは本当に難しい活動です。4月から考える技で習得してきた思考ツールの活用が身を結び始めていることを改めて感じました。研究発表会をオンラインで参加した教育関係者の方々の今回のプロジェクトの授業を見ていただいた感想をいくつか下記にまとめました。子どもたちと深く考えながら、更に愛唱歌プロジェクトを進めてまいります。

- ・子どもたちの表現力(言語化能力)が素晴らしい。
- ・短いグループ活動の時間内で、どのチームも視点を考えながら分類できていて、すごいなと思いました。アンケートツールの入力方法を情報(習得)の時間に学んでいて、それを活用していたということで、習得と活用のすみ分けもよく理解いたしました。
- ・自分たちで目的を持って情報収集したものを、皆で協働で整理分析しする体験をすることを通して、協同的な学びの学び方を身につけ、とても有意義な活動だと思います。
- ・隣で画面を覗いていた四年生の娘が「こんな授業うけたい!」と言っていました。取り組むべき課題がはっきりしていて、子どもたちに自分ごととなっている。その課題を解決する伴走者となれるように研鑽を続けたいです。
- ・先生方が真摯に今後の未来に向けての教育に取り組まれていることを感じ、感銘を受けました。生徒達が自分の意見をしっかりと持っていることも、素晴らしいと思いました。

手を挙げて発言する

先日、1人の子が授業後ある先生とその授業について話した際、「『もうちょっと積極的に手を挙げて発言してほしいなあ』と言われたから帰りの会で紹介したい!」と伝えてくれたので、短い時間ではありましたが、「授業で手を挙げる事」について帰りの会で話し合いました。「自信がなくて手を挙げられない」「分かっているけど手を挙げていない」「手を挙げてても当たらないし」など、様々な気持ちが見えた瞬間でした。人数が増えたことで、一人ひとりの発言の機会はどうしても減りますが、「みんなで授業を作り上げる事」を改めて振り返る機会になりました。4年生に向けた一つの課題として取り組んでいきたいと思っています。

写真はSOLANイメージ調査のために担当児童が1/2年生の教室を回ってお願いをしている様子です。